



(公社) 神奈川労務安全衛生協会
小田原支部
小田原市城内1丁目21番地
TEL 0465-24-1753
発行責任者 支部長 鈴木 重人
編集 広報部会

賀正

小田原ガス(株) 青木敏雄氏 撮影

——年間標語——

安全意識は命綱

しっかり締めて 目指そうゼロ災

❁ 新年を迎えて ❁

(公社)神奈川労務安全衛生協会小田原支部長

鈴木 重人



寒さ厳しきおり、小田原支部会員事業場の皆様にはご健勝のこととお慶び申し上げます。

昨年は、アベノミクスへの期待から円安・株高が進みだしたところから始まりました。その後、三本の矢は日銀の金融緩和、公共事業の拡大と放たれ、最後の成長戦略となる規制緩和などの動きがすすめられているところであります。夏には2020年東京オリンピック開催が決まり、震災復興を含めた日本全体の景気回復に弾みがつくことに多くの期待がもたれたのではないのでしょうか。

秋まで景気は好転し、円安・株高の影響もあり、特に大企業において業績の回復がみられました。中小企業においてはまだ好景気の実感がわかない、というところがあるかもしれません。ところが、良い方向に向かう事を願うところです。

本年4月には消費税が8%に値上げされる予定もあり、賃金上昇の動向がこれまでの景気回復の持続を占う試金石となってくるのではないのでしょうか。

そのような中、労働者をとりまく労働環境に目を向けますと、全国と神奈川県下における労働災害発生状況はともに減少の傾向にあります。残念な事に県下の死亡災害は昨年10月末時点において、前年同期に比べ3名の増加となっており、働く皆様の安全、健康の確保に十分な配慮がなされているのか憂慮されるところでございます。

第12次労働災害防止推進計画2年目となる本年は、景気の減速もなく労働衛生環境がよりよくなる事に期待し、働く皆様がそれぞれの現場で安全で健康に働くことができるよう、支部としてもサービス向上に努めます。

小田原労働基準監督署長

長久保 茂



新年明けましておめでとうございます。

日頃から、会員事業場の皆様方におかれましては、法定労働条件の確保・改善、労働災害の防止、労働

者の健康確保対策の推進及び労働保険年度更新の円滑な推進など労働者が安全に安心して働ける職場づくりのため、当監督署の行政運営に御理解・御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は、ようやく企業の景況感が持ち直し、先行きの見通しにも明るさが見られるところ。4月からの消費税率の引き上げを控え、賃上げの状況等によっては消費動向は後退局面も懸念されるところですが、国の各種政策の効果が発現する中で、景気回復の動きが確かなものになることが期待されます。

一方、労働基準行政に目を転じると、昨年4月から、第12次労働災害防止推進計画がスタートしています。この計画では、計画最終年である平成29年の全産業における労働災害による死亡者数及び休業4日以上死傷者数をともに、平成24年に比べ15パーセント以上減少させる等の目標を掲げ、すべての関係者が連携・協働して取組を推進することを目指しています。

また、長時間労働の抑制、賃金不払残業の解消、長時間労働者に対する健康確保措置の実施を重点に、社会問題化した若者の「使い捨て」が疑われる企業等に対する監督指導を強化しました。

今後とも職員一同、労働基準行政へのニーズを的確に捉え、効果的・効率的な行政運営に努めて参りますので、皆様方の変わらぬ御支援・御協力をお願い申し上げ、新年の御挨拶といたします。

小田原労働基準監督署からのお知らせ

1. 平成25年度労働保険の適用促進について

労働保険とは、労災保険と雇用保険とを総称した名称であり、労働災害や失業等が発生した際に、保険給付を行うことにより労働者の福祉の向上・増進を図るため、政府が管掌する強制保険制度です。

人を雇うということは、
その人はもちろん、
その人の家族も守るということ。
労働保険の加入は、
経営者の義務であり、責任です。

正社員・パート・アルバイト等雇用形態にかかわらず、一人でも労働者を雇った際に、事業主は労働保険に加入する義務が生じます。

※未手続期間中に労災事故が発生した場合、保険料を遡及して徴収されるほか、追徴金が徴収されます。

また、保険給付に要した費用の全部又は一部を事業主から徴収する場合があります。
※詳しくは、神奈川労働局、労働基準監督署及びハローワークへご相談ください。

2. 最低賃金の改定について

最低賃金が改定になりました。改定の内容は以下のとおりです。

最低賃金の件名 神奈川県最低賃金
効力発生年月日 平成25年10月20日

1 時間

868 円

適用

- ・神奈川県内の事業場で雇用されるすべての産業の労働者に適用されます。
- ・パートタイマー、臨時、アルバイト等の労働者にも適用されます。
- ・ただし、特定（産業別）最低賃金が適用される者は、高い方の最低賃金が適用になります。
- ・派遣労働者については、派遣先の事業場に適用されている最低賃金が適用されますので、派遣先事業場に適用される最低賃金を把握しておく必要があります。

必ずチェック最低賃金！使用者も、労働者も。

- ☐ 最低賃金額は都道府県ごとに違うことをご存じですか？
- ☐ 賃金は最低賃金額以上になっていますか？
- ☐ 使用者は適用される最低賃金額を周知していますか？

神奈川労務安全衛生大会参加報告

平成25年度神奈川労務安全衛生大会が、11月13日相模女子大学グリーンホールにて開催されました。

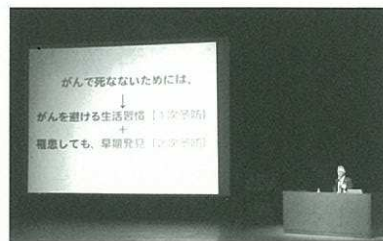
開会に先立ち、不幸にして労働災害で亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、哀悼の意を表して黙祷が捧げられました。第一部では、50名の労務安全衛生功労賞の方々と支部別安全競争の入賞支部に労務安全衛生協会会長賞が授与されました。その後、(公社)神奈川



労務安全衛生協会長の挨拶、来賓の方々からの祝辞を頂きました。最後に相模原支部長より大会宣言が読み上げられ第一部を終了しました。

第二部では、東京大学医学部放射線医学教室准教授 東京大学医学部附属病院 緩和ケア診療部長 中川恵一氏による「命と向き合う 必ずその時はやってくる ～老いと日本人とがんのひみつ～」と題した特別講演が行われました。日本人は、核家族化と病院死が進行した結果、家族の老いを見守り、最期を看取る習慣がなくなり死を忘れるようになった

と言われています。今回の講演では、2人に1人が罹患する国民病とも言えるがんに関して、これまで知らなかった多くのことを教えていただきました。例えば、がんは、遺伝による罹患が多いと信じていましたが、実際には全体の5%程度であり、本当は生活習慣病であることや、日本は世界一のがん大国でありながら、がん対策では後進国であることを知りました。平均寿命が高いほどがんになる可能性が高くなるため、今後がんは増加していき、定年延長や女性の社会進出増加により、働く人のがんが増加するため、大きな問題となるそうです。死を忘れ、がんに向き合えないため、早期発見に有効ながん検診や治療法に関しても、よく知らない日本人が多く、がんを知ることが、死を乗り越えることに繋がると話しておられました。これまでがんにに関して、あまりに無知であったことを自覚させられ、がんが怖いのであればがんから逃げるのではなく、よく知ることが大事だと教えられた講演でした。



(広報部会 岩屋泰彦)

労務安全衛生協会会長賞

労務安全衛生功労賞

磯崎 靖英 南開工業(株)
出縄 正 箱根登山鉄道(株)
井上 卓司 神奈川柑橘果工(株)
上野 良治 文化堂印刷(株)



磯崎さん



出縄さん



井上さん



上野さん

小規模事業場の事業者と労働者の皆さんへ

地域の産業医による健康相談・保健指導は 無料健康相談窓口をご利用下さい

労働者が心身ともに健康で働き続けられるように、長時間労働面接指導、メンタルヘルス対策や生活習慣病予防など、事業場が行う労働衛生管理の支援をするために、「県西地域産業保健センター」では、地域の産業医による面接指導や健康診断の事後措置などの無料健康相談・保健指導を行っています。

1. 無料健康相談窓口ご利用時間 (ご利用希望の方は、事前にご連絡を下さい)

午後1時00分～3時00分まで

2. 相談日(平成26年3月までの相談日は次のとおりです。)

1月17日(金) 2月5日(水) 2月28日(金) 3月5日(水) 3月19日(水)

3. 木曜日会場 (小田原医師会衛生会館 1F会議室 小田原市内1-22)

木曜日以外の日は、小田原市保健センターで「健康相談窓口」を開設しています。

この他に事業者や労働者が利用し易いように、南足柄市、松田町、箱根町、開成町、山北町、中井町などの産業医のいる診療所でも適宜開設しています。

連絡先 0465-49-2929 (月～金曜日の祭日を除く10時から16時までにご連絡ください)

厚生労働省委託事業[神奈川県医師会、協力小田原医師会・足柄上医師会] ご利用希望の方は

県西地域産業保健センター

TEL 0465-49-2929

FAX 0465-49-2930

■小田原市酒匂2-32-16(小田原市保健センター内)

産業保健活動研究会報告

10月11日(金)、埼玉県の中央部、坂戸市にある(株)明治坂戸工場を産業保健活動研究会会員9名で見学させていただきました。坂戸工場は1979年に開設され、主にチョコレート・ガム・グミ・スナック・ココアなどを生産し、チョコレートは原料であるカカオ豆の処理から生産が行われていました。物流センターと工場が隣接し、生産したお菓子をそのまま出荷できるという点が特徴です。

今回はカールとチョコレートの生産ラインを見学させていただきました。カールはトウモロコシの粉を原料とし、それに強い圧力をかけて膨らませ、味付けをし、乾燥させて作られていました。工場内は整理整頓が行き届き清潔感が溢れていました。金属探知機を使い幾重にも厳重な製品検査を行い、さらに人の目で確認を行うなど、原料の搬入から出荷まで、おいしくて安全・安心な製品を届けるために、多くの工夫と努力・品質への取り組みがされていることがわかりました。

また、温暖化防止・省資源活動・廃棄物ゼロ化にも積極的に取り組まれ、大変環境にも優しい工場であることがわかりました。

見学後に安全衛生・健康管理のご担当者より活動の状況をお伺いしました。従業員の関心をひく教育を繰り返し行い、安全意識の定着を図るなど、安全教育は創意工夫が感じられるものでした。また、産業医や保健師が従業員一人ひとりに健康診断結果を手渡して、保健指導が行われていたり、従業員が楽しみながら健康づくりに励むことができるイベントを開催するなど、健康面からの支援も、働きやすい健康的な職場環境づくりにつながるものと実感しました。日々、健康管理業務に携わる者としては大変勉強になりました。

最後に、お忙しいところ、丁寧にご対応をいただきました坂戸工場関係者の皆様に厚くお礼を申し上げます。

(株)カネボウ化粧品小田原事業場 多田理香)



緑十字賞

富士フイルム(株)神奈川工場
安全協力会事務局 川合 敏男



この度は緑十字賞をいただき誠に光栄に思います。

大阪城ホールで開催された全国産業安全衛生大会初日の総合集会にて、開会式に続いて表彰式が行われました。受賞者一人ひとり氏名が呼ばれその場で立ち上がった瞬間には、少々緊張のなかにも嬉しい気持ちと感謝の気持ちが湧いてきました。

富士フイルム現役時代、小田原支部事務局長時代、そして現在の安全協力会業務に亘り大勢の皆様にご指導いただいたお蔭と、改めまして感謝申し上げます。

小田原支部長はじめ役員の方々、富士フイルム、協会本部のご推薦まことに有難うございました。今後も地域の産業安全衛生のために微力を尽くしたいと思います。

皆様のご指導をよろしくお願い申し上げます。



〔事務局だより〕

事務局長 石塚 金蔵

〔1 月～3 月行事案内〕

- * 安全衛生祈願・経営者セミナー
 - ・ 1 月 10 日(金) 報徳二宮神社
報徳会館
- * 酸素欠乏危険作業特別教育
 - ・ 1 月 22 日(水) 小田原箱根商工会議所
- * 役員会・部会合同研修会
 - ・ 1 月 31 日(金)、2 月 1 日(土)
グリーンパル湯河原
- * 法令講習会
 - ・ 2 月 4 日(火) 小田原市民会館
- * 事業場内メンタルヘルス推進担当者養成講座
 - ・ 2 月 14 日(金) 小田原箱根商工会議所
- * 関係団体長会議・産団連会議
 - ・ 2 月 18 日(火) 小田原市民会館
- * フォークリフト運転技能講習
 - ・ 2 月 18 日(火) 学科 平塚支部
 - ・ 2 月 22 日(土) 実技 日産車体㈱
- * 衛生推進者養成講習会
 - ・ 2 月 19 日(水) 小田原市民会館
- * T H P セミナー
 - ・ 2 月 24 日(月) 小田原箱根商工会議所

* 会員研修会

・ 2 月 28 日(金)

第一三共プロファーマ㈱平塚工場
田中貴金属工業㈱湘南工場

〔ご 案 内〕

☆平成26年 安全衛生祈願

日時：1 月 10 日(金) 13 時 30 分～
場所：報徳二宮神社

☆平成26年 経営者セミナー

日時：1 月 10 日(金) 14 時～
場所：報徳会館

基調講演

『現場主義 セーフ・ワーク神奈川』
神奈川労働局労働基準部長

伊津野 信之氏

特別講演

『二宮尊徳 7 代目子孫が語る
～尊徳の実践モデル』

国際二宮尊徳思想学会常務理事

中桐 万里子氏

☆平成26年 支部定時総会

日時：4 月 23 日(水) 15 時 30 分
場所：小田原市民会館

いずれも会員皆様多数のご参加を
お願いいたします。

散 歩 道

神奈川県出身でありながら、これまで小田原とは縁が薄く、唯一の思い出は幼少の頃に小田原城の天守閣に上がり、その高さに足がすくみ怖気づく、という苦いものでした。

しかし、昨春の小田原着任後から、数ある名所や名物を知ること、幼少時のトラウマは完全に払拭されました。今ではすっかり小田原ファンと化しています。

小田原の名物といえば、新年を盛り上げる箱根駅伝もその一つです。今年も沿道やテレ



ビで熱心に観戦した方も多いのではないのでしょうか。自校の名誉をかけ、一本の櫓を必死で繋ぐ光景は、観戦者の心を掴んで離しません。私も「安全担当」という櫓を引き継ぎ、災害ゼロ達成を目指して走っています。箱根駅伝同様、山あり谷ありの厳しい道のりですが、先人の汗が染みこんだ櫓を掛けながら、自事業場及び小田原支部の災害ゼロ達成に貢献を果たしたいと思います。

(広報部会 内海春人)